

第1回 宇宙輸送小委員会 議事要旨

1. 日時：令和5年5月25日（木） 17:00-17:45
2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
松尾座長、石田委員、片岡委員、新谷委員、中須賀委員、山崎委員
 - (2) 事務局
内閣府宇宙開発戦略推進事務局：坂口審議官、齊藤参事官
 - (3) 関係省庁等
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課：上田課長、竹上企画官
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構：森経営企画部次長、沖田第四研究ユニット長
4. 議事要旨
 - (1) 基幹ロケットについて
文部科学省から、資料2から5を用いて、イプシロンロケットとH3ロケットの打上げ失敗の原因究明状況や、H3ロケットの試験機2号機に関する方向性について説明があった。委員からは、以下のような意見があった。
 - イプシロンロケットとH3ロケットの打上げ失敗が連続したが、それぞれの失敗に対して、共通する背後要因は無いのか、しっかりと見極めていく必要がある。
 - これまで、海外から基幹ロケットの信頼性に対して、評価を得ていた。原因究明と対策に取り組んだ上で、将来の顧客となるであろう海外政府や企業に対して、日本のロケットの信頼性の高さを伝えていくような取組が必要ではないか。
 - 基幹ロケットは日本の宇宙開発の要である。しっかりと取り組んでもらいたい。

(2) 次期宇宙基本計画工程表(案)について

事務局から、資料6及び参考資料1を用いて、次期宇宙基本計画工程表(案)の宇宙輸送部分の作成について説明があった。委員からは、以下のような意見があった。

- 宇宙輸送に関わる「直近の課題」と「将来に向けた取組」を見定めて、取り組んでもらいたい。
- 線表について、いつまでに何を実施するのか、出来るだけ、具体的に記載し、スピード感を持って取り組んでもらいたい。

以 上